

段階からの意識と知識が

災害

の被害を少なくします。

山形は地震の危険地域!?

市域に位置する断層帯について、平成14年5月に山形盆地断層帯に関する評価が公表され、平成19年8月には、これまでの評価を見直した長期評価が公表されています。

公表時期		位置	長さ	断層のタイプ	断層の傾斜
平成19年8月	北部	大石田町～寒河江市	約29km	西側隆起の逆断層	西傾斜
	南部	寒河江市～上山市	約31km	西側隆起の逆断層	西傾斜
平成14年5月		大石田町～上山市	約60km	西側隆起の逆断層	西傾斜

断層帯	平均活動間隔	地震の規模	地震発生確率(今後30年以内)	地震によるずれ(上下成分)
北部	約2,500～4,000年	約M7.3	0.002～8% (「高い」部類に入る)	2～3m程度
南部	約2,500年	約M7.3	1% (「やや高い」部類に入る)	2～3m程度
前回公表	およそ3,000年	約M7.8	0～7% (「高い」部類に入る)	4～5m程度

自分たちの地域は自分たちで守る

大災害発生直後は、建物倒壊、道路破損などにより公的機関による防災活動が十分に対応できないことが考えられます。こうした時に大きな力を発揮するのが、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯意識で自主的に結成する「自主防災組織」です。

阪神淡路大震災では、生き埋めになったり建物に閉じ込められたりした人々のうち、約95%は自分自身【自助】または家族や隣人【共助】によって救助されました。

自主防災組織を作るには…



詳しくは防災対策課(641-1212 内線381)にお問い合わせ下さい。

災害対策は地域のみんなで



災害時



平常時

防災知識の普及



自主防災組織の活動は

